

★第18回もろどみこどもフェスタを開催★

令和4年6月11日(土) 10:00~12:00

場所: 諸富町公民館

参加者: 136名 ボランティア: 47名 合計: 183名

2年間中止していましたが、今年ではできる方法での開催をという思いから『ニュースポーツ』で楽しみました。

佐賀市のスポーツ協会指導員の協力により開催!!

当日は雨、応援予定の中学生が参加できなくなり不安の中... 以前フェスタに参加していた地域の高校生が助っ人で応援参加!

たくさんの方の協力のもと、楽しく無事に開催できました。



参加者はニュースポーツに熱中! めざせパーフェクト! 楽しいひと時でした



帰りには“くじ”を引き「お土産」です

<佐賀市産業振興会館が新しくなりました>



北側入口が模様替え、東側入口にはエレベーターが設置されています

~佐賀市役所諸富支所庁舎が1月に移転~

現在の諸富支所の建物は閉鎖され、佐賀市産業振興会館内に各団体は移ります

<新しく移転する団体等>

- ① 諸富支所 (総務・地域振興グループ、市民サービスグループ)
- ② おたっしや本舗諸富・蓮池
- ③ 佐賀市南商工会
- ④ 諸富家具振興協同組合
- ⑤ 諸富土地改良区
- ⑥ 諸富校区自治会



* 諸富地区社会福祉協議会『もろどみ広場』は諸富町公民館へ移動



諸富町第8回避難防災訓練は悪天候予報の為、前日中止決定

11月13日(日) 実施にむけ準備を進めていた防災訓練は、12日午後の段階での天気予報が“早朝にかけて雷を伴う激しい雨が予測される”とのことで中止することに致しました。参加予定者には自治会長を通して“非常食”等を配布していただき、地域住民の防災意識の高揚には貢献できました。開催の為、ご努力いただいた主催者の方々、諸富北小学校区自治会長の皆様ご苦労様でした。



大型台風時の避難所の対応改善

2020年9月の台風10号以来の大型台風14号が9月19日柳川付近に上陸しました。台風10号の際は避難所の混乱した様子が色々耳に入ってきましたが、今回は避難所に混乱は見られず順調に避難が行われたようです。

佐賀市の危機管理防災課に改善の要因を尋ねたところ

- ① 2回目まで避難者が慣れてきた。
- ② 避難するための時間が十分にあった。
- ③ 行政の対応の改善等が挙げられた。



諸富町では、ハートフルと公民館に避難所が設けられたが、筆者が見るところハートフルは広いことやトイレが充実していることが利点であり、公民館はテントが配備され、プライバシーが守れることが利点となっています。避難先を決める時の参考にしていただければ幸いです。

(諸富町自主防災活動本部事務局長 野口英行)



多くの方が避難されたハートフル



テントも用意された公民館

諸富町の歴史に学ぶまちづくり『水の音』発刊



変わってゆく諸富町



諸富町シンボル「昇開橋」



R3.8.14 ドロン横水門

主な配布先: 佐賀市各支所、町内各自治会、諸富図書館、市立図書館、県立図書館、諸富南北小・中学校図書室



諸富の水の歴史 冊子で紹介 花いちもんめの会 作製

【佐賀市】利水や治水、生き物など佐賀市諸富町の「水」をテーマにした冊子「諸富町の水」歴史に学ぶまちづくりを、同時まちづくり協議会が発行した。先人の取り組みを地域防災につなげよう、小杭地区で環境美化活動を行う「諸富花いちもんめの会」(江頭正通会長)が作製した。冊子は町内の排水の歴史や現状について、地図、写真をふんだんに使って解説。町内を4地域に分けて排水対策のポイントを示すなど、防災を重視した内容になっている。急須島、昆布など水に関わる生き物も写真付きで紹介している。1953(昭和28)年の大水害など水害の歴史も振り返っている。町職員として治水などに携わった経験を編集に生かした同会の小柳春良事務局長(右)は「画像整備などが進み、編集操作など人の動きが重要になっており、歴史を知ることが防災には欠かせない」と語り、冊子を手に持っている。A4判、カラー90ページ、100部作製し、町内の自治会や小中学校などに配布した。県立図書館や佐賀市立図書館でも見ることができ(江頭貴之)